

# 免疫検査学

《担当者名》高橋祐輔

## 【概要】

免疫検査学Iで学んだ免疫系の基礎的な知識に加えて各疾患における免疫系の働きを理解し、その診断に利用される免疫学的検査法の原理と臨床的意義を理解する。

## 【学修目標】

- 1) 免疫学的検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につける。
- 2) 各疾患における免疫系の働きを理解し、その診断に有用な検査方法の原理と臨床的意義を理解する。
- 3) 免疫学的検査が有用な疾患について説明できる。
- 4) 疾患における免疫異常について説明できる。
- 5) 症例診断における免疫学的検査の重要性を理解できる。
- 6) 免疫学的検査の原理について説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	免疫学的検査法	・試験管内抗原抗体反応の基礎 キーワード：試験管内、抗原抗体反応	高橋祐輔
2	免疫学的検査法	・沈降反応 ・凝集反応 ・溶解反応 ・中和反応 ・免疫化学的定量法 キーワード：沈降反応、凝集反応、溶解反応、中和反応	高橋祐輔
3	免疫学的検査法	・標識抗体法（標識免疫測定法） ・非標識免疫測定法 キーワード：標識物質、標識免疫反応	高橋祐輔
4	免疫学的検査法	・電気泳動法 キーワード：電気泳動、M蛋白	高橋祐輔
5	免疫学的検査の実際 感染症の検査	・溶連菌感染症 ・梅毒感染症 ・クラミジア感染症 キーワード：感染症、抗原、抗体、病期	高橋祐輔
6	免疫学的検査の実際 感染症の検査	・肝炎ウイルス感染症 ・レトロウイルス感染症 ・その他のウイルス抗体検査 キーワード：ウイルス感染症、抗原、抗体、病期	高橋祐輔
7	免疫学的検査の実際 感染症の検査	・リケッチア感染症 ・マイコプラズマ感染症 ・抗原を検出する感染症検査 キーワード：感染症、抗原、抗体、病期	高橋祐輔
8	免疫学的検査の実際	・アレルギー疾患と検査 ・生体内抗原抗体反応 キーワード：アレルギー、アレルギー性疾患、IgE	高橋祐輔
9	免疫学的検査の実際 自己免疫疾患関連検査	・関節リウマチ関連抗体 ・抗核抗体関連検査 キーワード：自己免疫疾患、自己抗体、抗核抗体	高橋祐輔
10	免疫学的検査の実際 自己免疫疾患関連検査	・抗ミトコンドリア抗体 ・甲状腺自己抗体検査 キーワード：自己免疫疾患、自己抗体、甲状腺疾患	高橋祐輔
11	免疫学的検査の実際	・免疫不全症関連検査 ・細胞性免疫機能検査	高橋祐輔

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		キーワード：免疫不全症、免疫グロブリン	
12	免疫学的検査の実際	・腫瘍性疾患 ・腫瘍免疫 ・腫瘍マーカー検査 キーワード：腫瘍、癌、腫瘍マーカー	高橋祐輔
13	免疫学的検査の実際 血清蛋白異常症関連検査	・免疫グロブリンの測定 ・温度依存性蛋白 キーワード：血栓蛋白異常症、免疫グロブリン、温度依存性蛋白、自己抗体	高橋祐輔
14	免疫学的検査の実際 血清蛋白異常症関連検査	・補体 ・CRP キーワード：血栓蛋白異常症、補体、CRP、炎症	高橋祐輔
15	免疫学的検査のまとめ	・免疫学的検査のまとめ	高橋祐輔

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験） 86% 講義課題 14%

【教科書】

窪田哲郎 他 編集「最新 臨床検査学講座 免疫検査学 / 輸血・移植検査学 第2版」 医歯薬出版 2024年

【備考】

適時、プリント等の資料を配布する。  
クリッカーを使用し、学生の理解度を把握する。  
Google Formを用いて学修課題を提示する。

【学修の準備】

教科書の該当する項目を予習し、専門用語の意味などを理解しておくこと（120分）。  
講義で用いた資料に関して復習し、他人に説明できるくらいまで勉強しておくこと（120分）。

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

【課題に対するフィードバック方法】

Google Formで提出させた課題に対する質問には返信を行う。  
毎回課す穴埋め問題については、次回の冒頭に解説を行う。

【実務経験】

臨床検査技師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、免疫検査学の総論、各論の講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している